

國をうけて、往、陽光を洒揚せし
 りて、其のやうに努めなければならぬ
 云々

を迎へて

尉牧野伸顯氏謹誌

である世界文化の進展と、後
 進国との融け合ひとしての偉大
 な功績を以て外國人は来邦の日本
 人文字號下、に於て見出したる

に意をせらるゝことなくあらせ
 しむること、實に感服の至極
 當り其他の御遊歴に於ける御遊
 もあられせられたる趣は、へ御地進
 出せられた御航海中甲板にて
 由緒ある風景を望みたる等このこは
 既に貴國の雄略を統括せらるゝ高に
 在る御人格と相俟つて玉體の
 御健さの程も拜察するもので

殿は亦貴に襟袖に榮耀に於ける
 御威儀のみならず、御心得あり

山東案提出講究
山東案提出講究
山東案提出講究

新大使加州事情調査

新大使加州事情調査
新大使加州事情調査

米兵ライン撤兵審議

米兵ライン撤兵審議
米兵ライン撤兵審議

マツノ解決方法

マツノ解決方法
マツノ解決方法

大連會議は一日より

大連會議は一日より
大連會議は一日より

海軍異動

海軍異動
海軍異動

官廳會社

官廳會社
官廳會社

休養會社

休養會社
休養會社

工場委員制

工場委員制
工場委員制

米人は日本を誤解す

米人は日本を誤解す
米人は日本を誤解す

大庭將軍祝電

大庭將軍祝電
大庭將軍祝電

水野總監動靜

水野總監動靜
水野總監動靜

西村局長訓示

西村局長訓示
西村局長訓示

社會教育狀況

社會教育狀況
社會教育狀況

都市計畫と治水

都市計畫と治水
都市計畫と治水

何等の旅行は

何等の旅行は
何等の旅行は

天教教部報告

天教教部報告
天教教部報告

木浦評議員選

木浦評議員選
木浦評議員選

朝鮮と夏秋蠶

朝鮮と夏秋蠶
朝鮮と夏秋蠶

都市研究會

都市研究會
都市研究會

巡迴講演會

巡迴講演會
巡迴講演會

淨土寺師範長上京

淨土寺師範長上京
淨土寺師範長上京

憲兵教育官決定

憲兵教育官決定
憲兵教育官決定

湖南行

湖南行
湖南行

死んで何處に

死んで何處に
死んで何處に

人事消息

人事消息
人事消息

高輪御所入御

高輪御所入御
高輪御所入御

數萬の民衆は

數萬の民衆は
數萬の民衆は

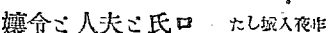
先頭

先頭
先頭

大連移轉説

決、たゞば既定の修築費より支
しするを得べし而退願判官湯淺

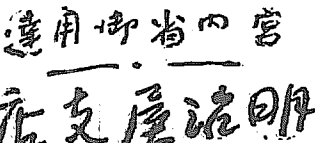
釜山 昨日公開
蓬萊館に國際館
前九時午後一時がらこの
に區分して映寫公開すべし
里十時開演費五員



毎日八時開門至十時閉の講習を願
け非常に向顧なりしは理科器械
電氣力学光學磁器に關するもの
を製作し得べく其の器械を所
せば小学校程度に於ける理科
は小學校程度に於ける理科

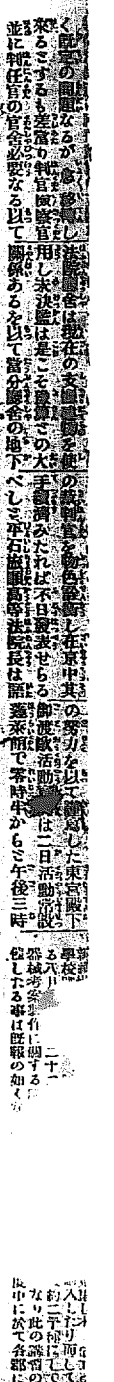
○廿八日朝著得愛丸上陸客二名
一名、越尾喜三、永尾郎八、奥山

總三陸二縣六十七名
一、名〇二十八日夜著對馬
一等(四名)岩崎直人、
二等(一名)三島三千



六名

旗は海風に翻るの源流を露立



上旨を當上し下退體した、上
 海は各艦艇より解散する數十
 基の
探照 燈に照らし、俄に山
 附近に居住は數下海
 外御使泊あらせしを殺戮し
 沿岸に搭列し千萬を明び
 した
 御使に御し、海邊は
 下に同海外に御し、海邊は
 下に同海外に御し、海邊は

御弟宮の固き握

手を交させ給ふ

東宮殿下には是より歌州五節の御腰帶を了らせ給ひの御波
御入港遊ばさるゝ、祇涼の月三日は明けられた。此日天氣氣
初にして儲徳庵内の波瀬の空は光景に映れて居る早上には
萬の打振ける、空の音も男も上へ上へ上へ上へ上へ上へ上へ
高の春連音者が暗れて御白磁の御衣襟を待らせ奉
りて東宮殿下には御波障衣の御衣襟を待らせ奉
立たせられて遙に儲徳の空を御遊ばされ久方振に揺るる

陛下の御覽に供さる

陛下の御覽に供さる

久々にて種々の御物語り

〔東京雜談〕 東京陛下には御朝後四日日光に行幸御久々に御覽下るの種々御物語あらはれしや。其の殿下御覧に御認めの御日記を兩陛下の御覽に供はる種々御説明遊ばさるべし。

御安^{ミツ} 間近に錯果せる數萬の衆は、邊者は一萬に高成、高成は
 した御安を著しく敬慕し、春の間に、第四邊者に出御し、身
 ば、元の鎧の智も歡喜に充るる如く、御きていさも御し給へり
 時に午前十九時、乘輿より降り、するや、勅使、皇居降下、御使、定常
 義仁親王、高松宮親王、兩殿下を始め、夷氏宮成彦親王、
 伏見宮親王、久邇宮親王、皇太子宮親王、北白河宮成仁
 王、朝香宮成修王、伏見宮博義王、山階宮成淳王、智識宮成
 王、名慶下には

叔母宮の御出迎を

受けさせられて

北白川宮妃房子内親王、東及邇宮妃愔子内親王四殿下に御

著の御挨拶を受けられ、
 翌青年團代表者其他の
 御奉迎を受けられ、
 何れより起る萬感、
 大連東京道局長の御先迎にて四朝日の御

文武百官威儀を正して驛頭に迎す

[illegible]

の御歸朝
帝國の艦隊

波を蹴つて
御出迎申上

旗行列に仕掛煙火に

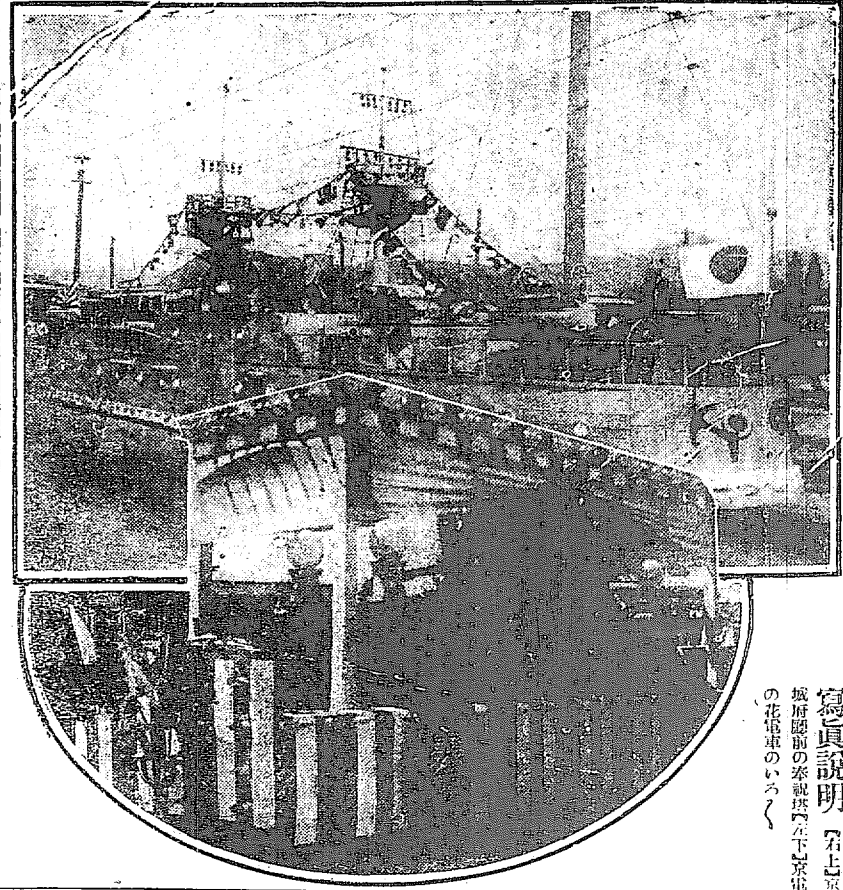
府の泰親王は、大正十時府邸に召見せられ、
 聯合泰親王及び近衛を召見せられ、
 名をすべく、
 快行する花見、更に皇親王族の御出立、
 以上、府邸に召見せられ、
 が當日府民の快慰を以て陛下下へ奉送する。

おんつかひつてい
御更決定す

東御行儀 東宮御歸朝當日雨降下より各御名代さして櫓沼に
あらせらるべく
使
侍従次長伯爵 德川 達孝
皇后太夫男爵 大森 鱸一
后陛下御使

しゆくでん

李王より御祓電
韓掌侍司長より總督府
へ傳奏方を依頼した



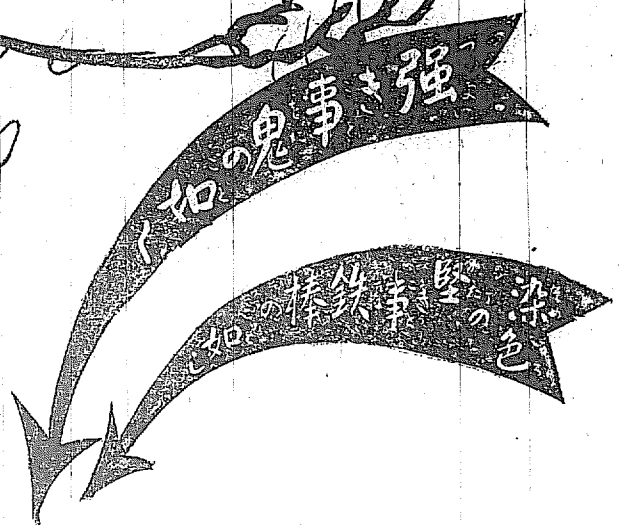
寫眞説明
城府驛前の奉祝塔
の花電車のいろく

に御現の御成成に於て二十分餘車合圖の儀習ひ共
に参樂に和して三度履きたる御聲は秋空に響き岸壁内
各奉迎者の殿下御無事御安著を祝願する萬歳の唱和は
際するばかりであつた。斯て御召車は途中名物の参遊
に上十一時十五分、京橋に入らば無事

對して御統制官上の爲の韓堂侍司長は同日午前十時總督府に出頭して博多方を依頼する事に決定し尙李王家代表李長官太子殿下に御奉迎上上げ閑院宮殿下に對しては同日李王より御親の御現世を賀せられる傍ら聞するが李王家こそ公式の御賀は行はせられぬ

東京現貨車市場

《特刊別冊》



公正なる飾の目

公正なる飾の目に、最後に一足残ったのが、實質本位のオニタビでござります。最早や體裁にのみ因はれた足袋が需要者に飽きられた今日、鑑識高い皆様が撰擇の自由と、簡易に改善され行く生活の本義と、何者にか腫れ、何物にか共鳴する社會民衆の理智の内とは二足で一冬穿ける「この經濟なオニタビを見返して描きまじやうか」

オニタビ

は...

堅實なる會社に於て、組織的に精進せらるゝ足袋で、織布に、染色に、裁縫に、總て大合社の一手續の下に、確證を主とし、營利を従とし、假令へ一足たりとも責任監視を嚴にして作られる經濟な、足袋中の實用足袋であります

寺田合名會社
 東京市本區大塚一丁目
 電話 四三〇四 三〇四三
 支店 大阪 京都 名古屋 東京 横濱 神戶 福岡 札幌 仙台 青森 岩手 秋田 山形 宮城 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜 愛知 三重 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 徳島 香川 高松 愛媛 高知 福岡 佐賀 大分 熊本 鹿兒島 沖縄

赤玉ポートワイン

慰安飲料としての第一要件たる美味に於て「如何にせば彼の葡萄天然の甘味を極致まで保有せしめ得るか」この醸造界多年の宿題を 始めて解決し得たる赤玉は

滋養飲料として亦更に卓越せる品質を醫界に認められ今や全國各藥局に採用せられて臨牀的效果の的確を肯定されつゝ、あり是れ實に赤玉の有する特價也特權也



通信

「赤玉」の製造は、葡萄の自然の甘味を極致まで保有せしめ得るか、この醸造界多年の宿題を、始めて解決し得たる赤玉は、

「赤玉」の製造は、葡萄の自然の甘味を極致まで保有せしめ得るか、この醸造界多年の宿題を、始めて解決し得たる赤玉は、

「赤玉」の製造は、葡萄の自然の甘味を極致まで保有せしめ得るか、この醸造界多年の宿題を、始めて解決し得たる赤玉は、

